

## 第 1 回学校運営協議会の記録

日時	令和元年5月17日（金）11:00～13:30	場所	祇園小会議室・各教室
出席者	熊田委員、鹿倉委員、羽入委員、浅和委員、小山田委員、福岡委員、吉住委員 谷田部校長、膝附教頭（司会）、村上教務主任（記録）、熊倉教諭（地域連携教員）		
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下野市学校運営協議会運営マニュアル</li> <li>・「平成31年度 学校概要」</li> <li>・「平成31年度 学校経営計画」</li> <li>・「第1回職員会議資料」</li> <li>・校長室通信「ぎおんばら」第1号・第2号</li> <li>・「学校としての課題・困り感～昨年挙げた課題と取り組んだこと、今年度取り組みたいこと」</li> </ul>		
<p>1 話し合い【会議室】</p> <p>(1) 自己紹介</p> <p>(2) 任命書交付 ※石川委員は欠席</p> <p>(3) 学校運営協議会の趣旨等の確認</p> <p>(4) 会長及び副会長の選出</p> <p style="padding-left: 20px;">◎会長 熊田委員 副会長 鹿倉委員 に、決まりました。</p> <p>(5) 今年度の学校経営の基本方針の承認</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 学校長からの説明</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-left: 20px;"> <p>1 学校教育目標を変えたこと</p> <p>(1) 変えた理由</p> <p style="padding-left: 20px;">【児童の実態】</p> <p style="padding-left: 40px;">○素直で子どもらしい。目標に向かってよく頑張る。子ども同士仲が良く、親切な子も多い。学力が高い。</p> <p style="padding-left: 40px;">△自己肯定感が低い子が多い。自己表現・人との折り合いをつけるのが苦手な子が増えつつある。学力の二極化が見られる。</p> <p style="padding-left: 20px;">【社会情勢から】</p> <p style="padding-left: 40px;">変化の激しい時代を自分の力で生き抜くたくましさや、変化に対応し、他者と共に生きるしなやかさを養うために、学校という集団生活の中で、互いに認め合い学び合い、育ち合える経験を積ませる必要がある。</p> <p>(2) 学校教育目標</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p style="padding-left: 20px;">響き合い、輝かし合いながら、共によりよく生きようとする子どもの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健康で明るい子（たくましく）</li> <li>○ 進んで学ぶ子（かしこく）</li> <li>○ 心の豊かな子（なかよく）</li> </ul> </div> </div>			

## 2 学校経営方針

(1) 「安心感と自信をもって学べる学校づくり」を進める。

特に一日の大半を過ごす学級が、安心して過ごせ、自らの力を発揮できる場所であるよう、学業指導を核とした学級づくりを進める。

(2) 学力向上のため、「分かる喜び、学び合う楽しさ」を感じる指導の工夫・改善に努める。

(3) 気力体力の向上のため、「はしって とんで ねて 食べて 元気いっぱい ぎおんの子」を合い言葉に、体育・保健・食育が連携した取組の充実を図る。

(4) 地域への愛着をもち、社会戢人のために働こうとする態度を養うため、ふるさと学習やキャリア教育に力を入れる。

(5) 家庭や地域との連携を深め、地域に根ざした学校づくりを進める。

(6) 教職員一人一人が生き生きと働ける職場環境をつくる。

### イ 質疑

(小山田) 学力の二極化という話があったが、「祇園」というだけで学力が高いとされている。できる子とできない子との穴埋めができるよう、二極化への策を練ってほしい。また、他市の人から「祇園小は大変」と言われる。祇園小はよい学校。負のイメージを変えていければよいと思っている。

(校長) パワーアップタイムを取り入れるなど、個に応じた指導を工夫している。また、子ども同士が教え合う、学び合う授業を推進している。それでも、教師一人では十分な対応が難しいので、学習ボランティアに協力していただくことを今年度は考えている。

(浅和) 先生達には、余裕をもって子どもたちを見てほしい。レベルの異なる子どもを指導するのは大変なこと。外部の力を借りるとよい。

この協議会は、「どうやって祇園小をよくするか」が最終目標。よいことも悪いことも議論を重ねていけるとよい。

### ウ 承認

◎ 今年度の学校経営の基本方針については、全会一致で承認されました。

## 2 授業参観【各教室】

\* 「子どもが生き生きと活動し、落ち着いて学習している印象」との感想をいただきました。

## 3 会食（給食）【会議室】

## 4 話し合い【会議室】

(1) 課題及び今後の方向性

ア 児童の登下校の安全について〈吉住委員より〉

ツタヤと足銀の交差点で、スクールガードとして立っている。子どもたちが登校する時間帯が、駅へ向かう車が一番多く、スピードを出しているのが危ない。7：40くらいから一段落するのだが、時間の調整はできないか？

(熊倉) 8時までには登校することになっている。7：45に昇降口を開けるため、早ず

ぎる班には指導している。医大前からなら7：40過ぎでも間に合う。時間を  
守って早く来ないよう、PTA地区部と相談して、指導する。

(鹿倉) 吉住さんが持っている旗は大きくてよい。どちらでもらえるのか？

(熊田) 安全安心課でもらえる。

(吉住) 高齢者がスクールガードをやっていると、自分自身の心身の健康にもよい。も  
っと、高齢者をスクールガードに引き入れられないか？

(浅和) 体を動かすことは、認知症の予防にもなる。スポーツの後に、しゃべっている  
のもよい。

#### イ 学校としての課題・困り感 (校長)

##### ○昨年度挙げた課題と取り組んだこと

・ 地域における児童の安全確保と、問題行動防止のため、地域と連携したい。

・ 学校の応援団を増やしたい。

⇒昨年度、二中学区クリーン活動への参加を、地域に呼びかけた。

校長室通信を、自治会内で回覧していただいた。

・ 保護者のPTA活動への参加を増やしたい。特に父親。

⇒昨年度、「祇園小祭」を実施し、「お父さん会」の発足と参加を呼びかけた。

・ 環境整備（除草・剪定・修理など）が公仕一人では厳しい。

##### ○今年度取り組みたいこと

・ 学校支援ボランティア（環境ボランティア・学習ボランティア）の導入

・ 地域人材・資源を生かした学習

#### (2) 今後の予定

・ 2回目 7 / 9 (火) 13:45~15:15

・ 3回目 10 / 16 (水) 13:00~15:00

・ 4回目 12 / 9 (月) 10:00~12:00

・ 5回目 1 / 31 (金) 10:00~13:00 (給食あり)

